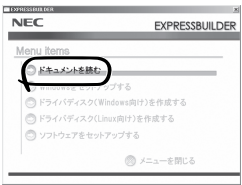


箱を開けてから装置を使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

ユーザーズガイドについて

ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」DVDの中に格納されています。ユーザーズガイドはAdobe® Reader™で開覧できるPDFファイルで、以下の手順で表示・印刷することができます。

- ① Adobe Readerがインストールされているコンピュータの電源をONにする。
- ② 添付の「EXPRESSBUILDER」DVDをコンピュータの光ディスクドライブにセットする。
オートラン機能により自動的にメニューが起動します。セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。
- ③ 「オートランメニュー」の「ドキュメントを読む」をクリックする。



EXPRESSBUILDERはDVDにて提供しているため、DVDが読み込める装置のあるコンピュータでないも各種ソフトウェアのインストールをすることができません。CD-ROM装置のみのクライアントマシンへソフトウェアをインストールしたい場合は、次のような手順にて、いったんCD-R等へコピーしてから使用してください。

- ④ 本手順は、クライアントへソフトウェアをインストールする目的に限り、CD 1枚分のみコピーすることができます。
- ① 本装置など、DVDが読み込める装置へ「EXPRESSBUILDER」DVDをセットする。
 - ② オートランメニューが起動した場合は終了させる。
 - ③ エクスプローラから、「EXPRESSBUILDER」DVDに格納された以下のファイル・フォルダをハードディスクドライブへコピーする。
¥(ルートフォルダ)
└ ¥011 : version.xmlをコピー
└ ¥ar_menu 以下すべて
└ ¥doc以下すべて
└ ¥win以下すべて
 - ④ 手順③にてコピーしたファイル・フォルダをそのままのフォルダ構造にてCD-Rへコピーする。
コピーするときは、ルートフォルダを一致させてください。
 - ⑤ CD-Rへのコピーが完了したら、手順③にてコピーしたハードディスクドライブ上のファイル・フォルダはすべて削除する。
 - ⑥ 手順④で作成したCD-RをクライアントマシンのCD-ROM装置へセットする。
 - ⑦ エクスプローラから、CD内の以下のファイルを実行する。
¥011¥ar_menu¥autorun_menu.exe
(32bitエディションの場合)
autorun_menu_x64.exe
(64bitエディションの場合)
- ユーザーズガイドでは、本製品を安全に取り扱うための注意事項やスタートアップガイドでは記載されていないセットアップに関する詳細な説明、運用やアップグレードに関する説明が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときのトラブル回避の手だてやサービスに関する情報も記載されています。本製品を取り扱う前にぜひお読みください。

手順⑥でパラメータファイルを使用してセットアップする場合は、ファイル保存用として1.44MBフォーマット済みの空きフロッピーディスクを1枚ご用意ください。また、作成したフロッピーディスクは、EXPRESSBUILDERと一緒に保管しておいてください。再セットアップの際はこのフロッピーディスクを使用すれば、パラメータの入力を省略することができます。

- ④ 装置に添付のEXPRESSBUILDERに対応していない大容量記憶装置コントローラに接続されたハードディスクドライブへインストールする場合は、「ユーザーズガイド」の「導入編」―「応用セットアップ」を参照してください。対応コントローラの確認は、コントローラに添付のセットアップ手順書、またはユーザーズガイドを参照してください。
- Windows Server 2003 x64 Editions をインストールする場合は、「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているオンラインドキュメント「Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition インストールेशनサプリメントガイド」を参照しマニュアルセットアップを行ってください。
 - 本製品には標準でフロッピーディスクドライブが搭載されていません。別途ご用意ください。

<Linux>

- BTO(工場組み込み出荷)モデルの初期設定**
本体の電源をONにするとインストール済みのOSが起動します。続けてLinuxサービスセットに添付される「初期設定および関連情報について」を参照し、Linuxの初期導入設定を行ってください。
- OSが未インストールの場合・再インストールの場合(Linuxサービスセットを購入している場合)**
添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているオンラインドキュメント「ユーザーズガイド」の「Linuxのセットアップ」を参照し、「シームレスセットアップ」を行ってください。
- OSが未インストールの場合・再インストールの場合(Linuxサービスセットを購入していない場合)**
添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているオンラインドキュメント「Red Hat® Enterprise Linux 5 Server インストールेशनサプリメントガイド」または「Red Hat Enterprise Linux 4 インストールेशनサプリメントガイド」を参照し、「マニュアルセットアップ」を行ってください。
- ④ セットアップ時にドライバディスクを作成する必要があります。別途ドライバディスク用に空きフロッピーディスクを1枚ご用意ください。
- 本製品には標準でフロッピーディスクドライブが搭載されていません。別途ご用意ください。

障害処理のためのセットアップ

本装置内のメモリダンプ(デバッグ情報)を採取するための設定を行います。詳細については、「ユーザーズガイド」の「導入編」―「障害処理のためのセットアップ」をご覧ください。

PDFファイルを開覧するためには、Adobe Readerの日本語版が必要です。Adobe Readerはアドビ社のWebサイトから無償でダウンロードすることができます(<http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2.html>)。またユーザーズガイドは、弊社Webサイトの「PCサーバ サポート情報」ページからダウンロードすることもできます(<http://support.express.nec.co.jp/pcserver/>)。

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品が揃っていることを確認してください。

- 本体×1
- EXPRESSBUILDERパッケージ×1*- スタートアップガイド(本書)×1
- 保証書×1*2
- キーボード×1
- FDDブラケット固定用ネジ(CPIMSX3X6X15BF)×2*3
- デバイス固定用ミリネジ(L-CPIMSX3X4X15BF)×4*5
- フロッピーディスクドライブ用ブラックパネル×1*3
- SATAケーブル×2*6
- 電源コード×1
- ご使用時の注意事項×1
- お客様登録申込書×1
- マウス×1
- エアダクト×1
- ゴム足×4
- セキュリティキー×2*4

- ④ 添付の「EXPRESSBUILDER」DVDは、セットアップ(または再セットアップ)の時に必要となりますので大切に保管しておいてください。
- 上記添付品は、本体のみのものです。スタートアップバックやBTO(工場組み込み出荷)製品などは「組み込み製品・添付品リスト」をご確認ください。

*1 EXPRESSBUILDERパッケージの内容についてはEXPRESSBUILDER内の添付品一覧を参照してください。
*2 梱包箱に貼り付けられています。
*3 内蔵フロッピーディスクドライブを搭載した装置構成では本体に実装済みです。
*4 2.5インチディスクモデルの場合のみ。
*5 内蔵バックアップデバイスを搭載した装置構成では本体に実装済みです。
*6 オプションのRAIDコントローラを搭載した3.5インチディスクモデルの場合のみ添付品となります。

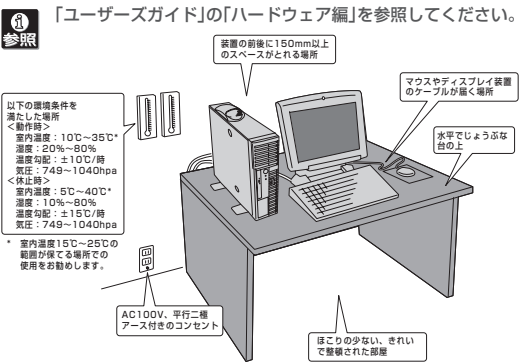
Step 2 内蔵オプションを取り付ける

本体内蔵用のオプションを取り付けます(オプションを購入していない場合や「BTO(工場組み込み出荷)」で本製品を購入されたお客様はStep3へ進んでください)。

- ④ 「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。また、インストールするOSによっては、一部ハードウェアの制限があります(BTOモデルを除く)。「ユーザーズガイド」の「導入編」を参照して注意事項を確認してください。

Step 3 本体を適切な場所に設置する

本体の設置場所を決めます。



Step 7 EXPRESSBUILDERを使ったセットアップをする

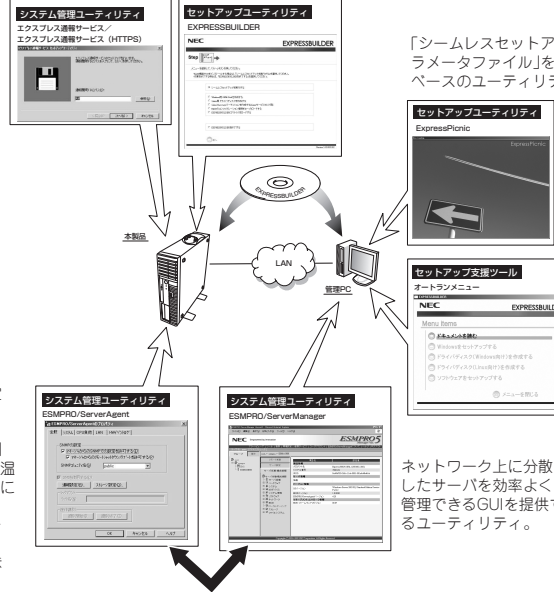
添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに各種ユーティリティが格納されています。これらはExpress5800シリーズが提供するシステム全体の運用管理を行うためのユーティリティです。TCO(Total Cost of Ownership)の削減、重大障害の未然防止、障害からの早期復旧を実現するために、EXPRESSBUILDERを使ってご使用になる環境に合った状態にセットアップしてください。ここでは、「EXPRESSBUILDER」DVDにある各種ユーティリティについて紹介します(OSがインストール済みのモデルではあらかじめこれらのユーティリティもインストールされているものがあります)。

- ④ 「ユーザーズガイド」の「ソフトウェア編」またはオンラインドキュメントを参照してインストールやセットアップをしてください。ここで記載されていないユーティリティについては、ユーザーズガイドまたはオンラインドキュメントで説明しています。

「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)」は、お客様とNECをひとつに結び、安心・充実した運用と各種サポートを提供するユーティリティです。NECが提供するサポートサービス体系「iBestSolutionsシステムサポートサービス」の基盤となるものであり、「ESMPRO/ServerAgent」が検出したトラブルやその兆候が現れた際にインターネットや公衆回線を介して「監視センター」に通報します。これを受け、「監視センター」は、全国430か所以上にあるNECフィールドिंगの保守サービス拠点のうち、もよりの拠点に指示を出し、サービスエンジニアがユーザー先へ出向いてトラブルの未然回避や復旧処置を行います。なお、ご利用に際しては、別途有償のハードウェア保守契約が、通報サービス契約が必要です。

―装置のさまざまな障害情報を収集し、状態の判定を行い異常を検出すると、ESMPRO/ServerManagerへアラート通報を行います。
―障害の予防対策として、事前に障害の発生を予測する予防保守機能をサポートしています。筐体内温度上昇やハードディスクドライブ劣化などを事前に検出できます。
―装置の詳細なハードウェア構成情報、性能情報を取得できます。取得した情報はESMPRO/ServerManagerを通してどこからでも参照できます。

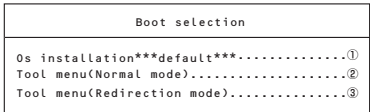
OSの再インストール(シームレスセットアップ)やシステムの診断、各種OEM-Diskの作成などExpress5800シリーズのシステムを構築するためのセットアップユーティリティ。



ESMPROはサーバシステムの安定稼働と、効率的なシステム運用を目的としたサーバ管理ソフトウェアです。本製品を導入することにより、装置の構成情報・性能情報・障害情報をリアルタイムに取得・管理・監視できるほか、アラート通報機能により障害の発生を即座に知ることができるようになります。

EXPRESSBUILDERについて

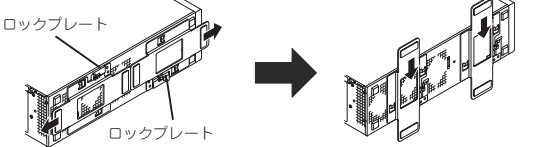
本装置の光ディスクドライブに「EXPRESSBUILDER」DVDをセットして起動すると、以下のメニューが起動します。



詳しくはユーザーズガイドの「ソフトウェア編」を参照してください。また、Windows PCにセットすると「オートランメニュー」を表示します。このメニューから各種バンドルソフトウェアのインストールや、オンラインドキュメントを参照することができます。

本体を縦置きに設置する場合

装置上面に冷却用のエアダクトを取り付け、ロックプレートを浮かせてスタビライザをいったん取り外し、図のように取り付け直してください。詳細は「ユーザーズガイド」の「設置の準備」を参照してください。

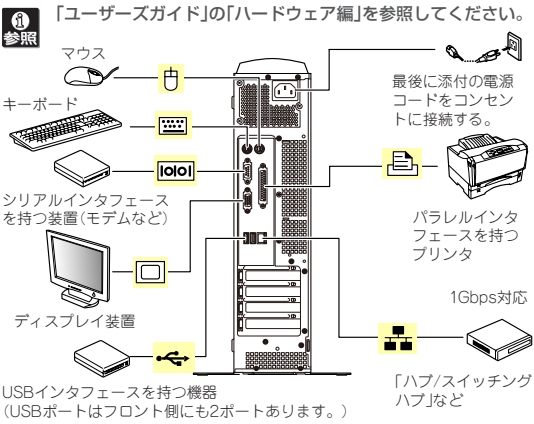


本体を横置きに設置する場合

装置右側面に冷却用のエアダクトを取り付け、底面にゴム足を取り付けてください。詳細は「ユーザーズガイド」の「設置の準備」を参照してください。

Step 4 ケーブルを接続する

ケーブルを本体に接続します。



Step 5 BIOSの設定を変更する

BIOSの設定を変更する必要のない場合は、電源をONにする前にStep 6をご覧ください。お買い求めになられたモデルによっては、電源のON後、すぐにシステムのセットアッププログラムが起動したり、添付の「EXPRESSBUILDER」DVDを使ってセットアッププログラムを起動しなければならない場合があります。

ご使用になる環境に合わせてBIOS(Basic Input Output System)の設定を変更します。

- ④ 操作方法や設定の詳細については「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。

システムBIOSの設定変更

オプションのUPS(無停電電源装置)を接続している場合や、管理ソフトウェアとの機能の連携をする場合にシステムBIOSの設定を変更します(通常は出荷時の状態でも問題ありません)。設定を変更するためにBIOSセットアップユーティリティ「SETUP」を起動します。

- ① 電源をONにした後、「NEC」ロゴが画面に表示されたら、<Esc>キーを押す。

- ② 次に示す起動メッセージが画面に表示されるまで待つ。
Press <F2> to enter SETUP
- ③ <F2>キーを押す。
「SETUP」ユーティリティが起動します。

SCSI BIOS/ディスクアレイBIOSの設定変更

オプションのSCSIコントローラやRAIDコントローラを搭載している場合は、それぞれの設定を変更するコンフィグレーションユーティリティの起動メッセージが表示されます。それぞれのオプションに添付の説明書を参照して正しくコンフィグレーションしてください。

オンボードSATA使用時のOSによるサポートについて

3.5インチディスクモデルでオンボードのSATAコントローラを使用する場合、OSによりサポートするモードが異なります。
Windows : AHCIモードまたはRAIDモード
Linux : IDE互換モード
各モードでのBIOS、ジャンパの設定内容については、ユーザーズガイドのハードウェア編→システムBIOSのセットアップ(SETUP)を参照してください。

使用するOSがWindows Server 2008の場合

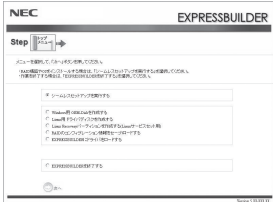
BIOSの設定を以下のように変更します。
「Advanced」→「Advanced Chipset Control」→「Enable Multimedia Timer」→「Yes」

Step 6 システムをセットアップする

オペレーティングシステムをセットアップします。

<Windows>

- OSがインストール済みのモデルで初めて電源をONにする場合**
本体の電源をONにするとWindowsのセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って必要な設定をしてください。
- OSがインストールされていないモデルの場合・再インストールの場合**
インストールには、添付の「EXPRESSBUILDER」DVDを使います。
- ① 本体の電源をONにする。
 - ② 「EXPRESSBUILDER」DVDを本体の光ディスクドライブにセットする。
 - ③ <Ctrl>キーと<Alt>キーを押しながら<Delete>キーを押して再起動させる。
光ディスクドライブからEXPRESSBUILDERが起動します。
 - ④ 「シームレスセットアップを実行する」を選択し、[次へ]をクリックする。



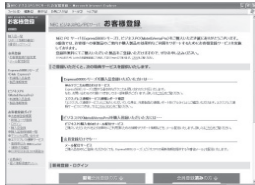
- ⑤ パラメータファイルを使用する場合は、パラメータをロードする。
[既存のパラメータファイルを使用しない場合]
「パラメータをロードしない」を選択して、[次へ]をクリックする。以降は、各画面の指示にしたがって必要なパラメータを入力してください。
[既存のパラメータファイルを使用する場合]
「パラメータをロードする」を選択し、パラメータファイルのパスをボックスへ入力する。その後、ウィザード上でファイルからロードされたパラメータファイルを確認する場合は[次へ]、確認しないでそのままインストールの場合は[スキップする]をクリックする。
- ⑥ 自動インストールの開始画面で[実行する]をクリックする。
以降はメッセージにしたがってください。

Step 8 お客様登録をする

添付の「お客様登録申込書」またはインターネット(WWW)を利用して登録を行います。

添付の「お客様登録申込書」に必要事項を記入の上、「エクスプレス受付センター」までご返送ください。返送していただいたお客様は、「ClubExpress会員」に登録させていただきます。「ClubExpress会員」は、インターネットからも登録手続きが行えます。

<http://club.express.nec.co.jp>



また、Express5800シリーズをはじめとするさまざまな製品の情報は弊社Webサイトにあります。ご覧ください。

「NEC コーポレートサイト」 <http://www.nec.co.jp/>
以上でExpress5800シリーズのセットアップは完了です。ご利用の環境に合わせてその他使用するアプリケーションのインストールとセットアップをしてください。
Express5800シリーズを永らくご利用ください。

Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けています。(電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター TEL. 03-3455-5800(代表)
受付時間 / 9:00~12:00、13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日を除く)

サービスパックの適用について
本装置にサービスパック(SP)を適用する場合、SPを単独で適用すると起動できなくなったり、動作が不安定になったりします。十分ご注意ください。適用方法はSPの添付状況により異なりますので、ユーザーズガイドの導入編または「NEC コーポレートサイト」(<http://www.nec.co.jp/>)を参照してください。
また、Windows Server 2003 Service Pack 2を適用する場合は、「シームレスセットアップ(Windows Server 2003 R2を除く)」または「システムのアップデート」で行ってください。装置に「NEC Express5800シリーズ Windows® Server 2003 RUR CD-ROM」が添付されている場合がありますが、使用せず破棄するか、装置に添付されているほかの媒体と異なった場所に保管してください。通常、ご使用になられても次のようなメッセージが表示され、セットアップが実行できませんが、メッセージが表示されず適用された場合は、再度「EXPRESSBUILDER」DVDから「システムのアップデート」を行ってください。このときサービスパックを再適用する必要はありません。

セットアップメッセージ
このWindows RURは、この装置には対応していません。
ご使用の装置を確認してください。

商標について

EXPRESSBUILDERとExpressPicnic、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Server、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2009
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。